



---

令和8年度

第1回 栄小学校 学校運営協議会

---



2026年6月4日

豊橋市立栄小学校

# 令和8年度 第1回 豊橋市立栄小学校 学校運営協議会

令和8年6月4日

13:30 校長室

司会：教頭

## 1 学校長挨拶及び委嘱(5分)

- (1) 校長挨拶
- (2) 「学校運営協議会委員」について
- (3) 委員委嘱

## 2 学校経営状況の説明(20分)

- (1) 本年度の栄小学校教育の目ざすもの (校長)
- (2) 学校経営について (校長)
- (3) 年間行事計画・栄小の学習について  
・年間行事…主な行事 (教頭)  
・学習面で の取り組み (教務)
- (4) 気になる子への取り組み・隣接学校との連携 (校務)  
・気になる子への取り組み
- (5) 学校評価について (教頭)
- (6) 「地域教育ボランティア」制度について (教頭)
- (7) 質疑、意見交換

## 3 授業参観(各教室)

5限 授業参観 14:00～14:45

## 4 その他

### 《連絡・依頼事項》

- ・ PTA会長による一日校長  
6月1日(月)・・・全校朝会での講話 授業参観 給食試食
- ・ 今後の予定  
第2回・・・ 9月24日(木) 10:00～ 学校運営協議会  
10:45～ 授業参観  
第3回・・・ 2月 9日(火) 12:30～ 給食参観、試食  
13:10～ 学校運営協議会

## 豊橋市立栄小学校「学校運営協議会委員」について

### 【趣旨】

第1条 学校は、保護者や地域住民に学校運営への支援と協力を求めるとともに、その願いや思いを反映させ、家庭や地域と一体となって「開かれた学校づくり」を推進していくことが必要である。

そこで、本校に「学校運営協議会委員」を設置し、学校運営に関し、保護者や地域のかたの意向を把握・反映しながら、その協力を得られるようにする。

### 【名称】

第2条 「豊橋市立栄小学校 学校運営協議会」とする。

### 【役割】

第3条 学校運営協議会委員は、校長の学校運営に関する権限と責任の下、子どもたちの生きる力を育むため、保護者、地域のかたの学校の運営への参画、支援及び協力を促進することにより、地域とともにある学校づくりを進めるものである。具体的にどのような事項に関し協議を求めるか、出された意見の集約・実現については、校長が判断するものとする。

### 【活動内容】

- 第4条 (1) 学校・家庭・地域の連携のあり方について  
(2) 地域の教育力の活用について  
(3) 学校の地域社会への貢献について  
(4) その他校長が必要と認める事項について

### 【委嘱】

第5条 学校運営協議会委員は、保護者や地域住民等の中から、教育に関する理解や意見を有する者で、以下の各分野の関係者とし、校長の推薦により市教育委員会が委嘱するものとする。

- ・ 栄小学校に在籍する児童の保護者
- ・ 栄小学校区の地域のかた
- ・ 栄小学校の運営に資する活動を行うかた
- ・ 栄小学校の校長その他教職員
- ・ 学識経験者
- ・ このほか、教育委員会が適当と認める者

### 【任期】

第6条 学校運営協議会委員の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

### 【会議等】

- 第7条 (1) 校長は、必要と認めた時、学校運営協議会を開催することができる。  
(2) 学校運営協議会委員は、活動を通して知り得た秘密については、職務を退いた後も漏らしてはならない。＜守秘義務＞

附則 この要綱は、令和8年4月1日から施行する。

# 令和8年度 豊橋市立栄小学校 学校運営協議会委員

(取扱注意 敬称略)

役 職 名	氏 名
栄校区自治会会長	いな ふみとし 伊奈 史年
栄校区自治会副会長	たけうち なおき 竹内 直樹
栄校区保護司会代表	まるやま ち え み 丸山 千枝美
栄校区民生主任児童委員	すずき しんじ 鈴木 伸治
福岡保育園長	なかやま ち え み 中山 知江美
卒業生代表 地域教育ボランティアコーディネーター	しばた かずお 柴田 憲男
栄小PTA会長	ごまもと よう 胡麻本 陽
南部中学校 校長	かとう ゆうじ 加藤 友治
校 長	おぎき みちお 尾崎 美智雄
教 頭	さかい かぐみ 坂井 香果
教 務	おおばやし やすゆき 大林 保由起
校 務	あまの ともよ 天野 朝代



## 学校経営状況の説明

- (1) 本年度の栄小学校教育の目ざすもの
- (2) 学校経営について (別冊：学校経営案)

令和8年度 豊橋市立栄小学校 グランドデザイン

### 学校教育目標

生きる 勇気と力と夢を

目ざす子ども像

思いやりのある子  
心も体も丈夫な子  
よく考え学ぶ子



校章

スローガン

さわやか あいさつ からだを きたえ えがおで 学習 栄っ子

未来を担う子どものために

- 学校・学年全体の活動で、学級の活動で、授業で、子どもたちを鍛えるための魅力ある教育活動を創造します。
- 言語活動を重視した学習を進める中で、自らの思いや夢を語れる子どもを育てます。
- 子ども・保護者・地域から信頼される教職員・学校を目ざします。

経営重点目標(中期目標)…数字1～5 ○印は令和8年度の重点努力目標(=短期目標)

#### 1 すすんで挨拶し、よりよい人間関係を築こうとする子どもを育成する

##### ○思いやりの心を醸成する指導・実践

- ・挨拶への意識向上を図る「話し合いの場の活用」と実践の場としての「挨拶週間の工夫」
- ・日常の授業を通じた「人の話を大切に聴く生活習慣」の確立と「思いやりの心」の醸成

##### ○自己肯定感・自己有用感を育む実践

- ・子どもが達成感を感じ取ることのできる、子どもが主体となった授業や活動の実践
- ・互いのよさを認め合う学級活動の実践

#### 2 心身ともにたくましい子どもを育成する

##### ○基礎体力向上のための工夫

- ・体力テストの結果から、子どもの体力面の課題を洗い出し、体力向上を図るための運動を授業に導入
- ・目標を設定した活動と体力向上を図る運動量の確保

##### ○すすんで運動やスポーツにかかわろうとする意欲を育む

- ・運動の楽しさを味わうことのできる体育授業の創造
- ・栄ギネスへの挑戦意欲をかき立てる手だての工夫
- ・長放課時の遊びを通じた運動への意欲づけ

#### 3 確かな学力を身につけた子どもを育成する

##### ○心に残る授業・主体的な学びを育む授業の実践

- ・学習基盤となる「お話タイム」の充実と、子どもの思いに根ざし、子ども一人一人に活躍の場がある問題解決的な学習の実践
- ・友達の考えにかかわらせ、自分の思いや考えを伝え合う活動の充実(教師支援等の工夫)
- ・一人調べや協働的な学習の場でのICT機器の積極的な活用

##### ○授業改善に向けた現職研修の充実

- ・校内現職研修委員会を中心とした問題解決的な学習のあり方についての研修と実践
- ・ESDの視点を核に、子どもが他者と協働しながら持続可能な社会の創造に参画しようとする授業の追究

#### 4 学校が大好きな子どもを育成する

##### ○学校が大好きになる学級経営や安心・安全な学校づくりを旨とした現職研修の実施

- ・教師の資質・力量向上を旨とし、授業づくり・学級づくり・安心安全な学校づくりを柱にした現職研修の実施

##### ○児童の心をつかむ相談活動の実施

- ・児童把握のためのアンケート(心の振り返り・親子で生活の振り返り)の計画的実施とハイパーQ-Uを活用した個への支援、問題に即応した教師・SC・SSW・関係諸機関が連携して行う相談活動の実施

##### ○児童の主体性や協働性を育む特別活動の実施

- ・児童の主体性や協働性を育むことを旨とした長放課(木曜日40分昼放課)の活用

#### 5 多忙化解消にかかる業務改善を推進する(健康で活力ある教師集団により、子どもたちを支える)

- ・タイムマネジメントの浸透と業務量削減に向けた見直し
- ・開かれた学校(コミュニティ・スクール)に向けての整備に伴う業務の見直し

(3)年間行事予定・栄小の学習について

令和8年度 豊橋市立栄小学校計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1水	1金		・朝会 ・1日校長PTA会長 ・委員会③	・体育館エアコン工事 8月末まで(体育館使用不可の予定)	・市制記念日	・2学期始業式(放送)2時間授業10:45下校
2木	2土		・4年生わくわく体験 ・5年出前講座 王寿園	・3年生さわやかプール② ・代表委員会②	・平和のつどい	・A日課2時間授業10:45下校
3金	3日	憲法記念日	・学校保健委員会2限講師矢澤様			・給食開始
4土	4月	みどりの日	・6年生プール①・代表委員会① ・第1回学校運営協議会 ・歯科健診(1年生、5-1,5-2,さわやか)		0 4火	
5日	5火	こどもの日			0 5水	
6月	6水	振替休日		・資源回収週間(～7/10) ・個人懇談会12:55下校 ・5年生オンラインスタディ ・個人懇談会12:55下校	6木	
7火	7木	・新6年生集合準備8:45・下校10:30	・第3回避難訓練(40分放課)		7金	・委員会⑤ ・生活委員会キャンペーン(～11日)
8水	8金	・入学式9:30(受付8:35-) 2年生以上休み	・資源回収週間(～13日) ・クラブ②	・個人懇談会12:55下校	8土	
9木	9土	・新任・始業式 8:50 ・学級写真 ・1年生と班長下校11:30	・5年出前講座 障害福祉課	・3年生さわやかプール③ ・縦割り活動③ ・民生児童委員連絡会9:00	9日	
10金	10日	・身体測定(さわやか) ・視力検査(3,4年生)	・4年出前講座(上水道)2・3限		10月	・職員打合せ15:15 ・民生児童委員連絡会9:00
11土	11月	・クラブ①(発足) ・春の530運動	・6年生プール② ・縦割り活動② ・歯科健診(3年生、5-3,5-4)		0 11火	・山の日
12日	12火	・眼科健診(1,3,5年生、さわやか)			0 12水	・学校閉庁日
13水	13水	・第1回避難訓練2限 ・第1回通学団会3限通学班下校 11:30	・内科健診(3,4年生) ・5年出前授業「ユニバーサルデザイン」	・学校公開日 2限授業参観 ・講演会3限 講演者 朝倉様 ・健全育成会校区トロール(午後)	13木	・学校閉庁日
14木	14木	・管内一斉退任式14:00・2年生以上弁当の日・1年生下校11:30・身体測定(4年生)・視力検査(5,6年生)	・5年生プール① ・耳鼻科健診(3年生、1-1) ・縦割り活動① ・民生児童委員連絡会9:00		14金	・資源回収週間(～18日) ・クラブ③
15水	15金	・2年生以上給食開始5時間授業・通常授業開始・視力検査(2年生)・1年生下校11:30・身体測定・聴力検査(1年生)	振替休日	・本読み会による読み聞かせ	15土	・4年出前授業ごみ
16木	16土	・1年生下校11:30・視力検査(1年生) ・身体測定聴力検査(5年生)	・6年生プール③ ・5年生福祉体験講座5.6限体育館	・給食終了 ・4時間授業・給食、掃除後下校	16日	・本読み会による読み聞かせ
17金	17日	・2～6年生5時間授業 ・心電図1年生10:45-11:15 4年生11:15-11:45さわやか該当者	・4年出前講座(下水道)2・3限 ・5年生福祉体験講座5.6限体育館	・1学期終業式(放送)2時間授業	17月	・児童集会②
18土	18月	・全校5時間授業 ・資源回収週間(～23日)	・豊橋学校ののちの日 ・児童集会① ・民生児童委員連絡会9:00		18火	・小中合同学校公開日(栄・福岡・南部) ・夏休み作品展
19日	19火	・尿検査二次	(下校時刻注意)		19水	
20月	20水	・委員会①(発足) ・1年生給食開始 ・身体測定(6年生)	・内科健診(1,6年生、さわやか) ・尿検査二次予備日	海の日	20木	
21火	21木	・身体測定聴力検査(2年生)	・5年生プール② ・歯科健診(2年生、4-1,4-2)	・夏季休業開始	21金	・敬老の日
22水	22金	・1年生となかよくなる会2限・20分放課	・1～4年生5時間授業 ・委員会②(運動会準備)	・全校5時間授業 ・朝会(校長・命のお話)	22土	・国民の休日
23木	23土	・6年生全国学力学習状況調査 ・5年生学力検査国語算数 ・5年生知能検査 ・身体測定聴力検査(3年生)尿検査一次	・運動会(雨天3時間授業)		23日	・秋分の日
24金	24日	・授業参観日 ・PTA総会(書面開催) ・引き取り訓練15:00 ・尿検査一次予備日			24月	・第2回学校運営協議会 ・縦割り活動④
25土	25月	振替休日	・3年生・さわやかプール① ・耳鼻科健診(5年生、1-2,1-3)		25火	
26日	26火	・運動会予備日(開始時刻注意)	(下校時刻注意)		26水	
27月	27水	・朝会 ・全校5時間授業	・内科・結核健診(2,5年生)13:20 ・本読み会による読み聞かせ		27木	
28火	28木	・6年生全国学力学習状況調査質問⑤⑥	・5年生プール③ ・歯科健診(6年、4-3,4-4)		28金	・学校訪問 ・全校5時間授業
29水	29金	昭和の日	・委員会④ ・第2回学校保健委員会15:05		29土	
30木	30土	・栄っ子タイム(認証式)	・4年生出前授業「SDGs」(下校時刻注意)		30日	
	31日				31月	・夏季休業終了

10月	11月	12月	1月	2月	3月
・民生児童委員連絡会9:00	1日 ・豊橋まつり ・造形パラダイス・伸びゆく子どもたちの作品展 ・とよはし科学月間(～)	1日 ・栄マラソン試走予備日	1日 元日	1日 ・資源回収週間(～6日) ・朝会・全校5時間授業	1日 ・資源回収週間(～5日) 委員会⑩(最終)
	2日 ・全校5時間授業	2日 ・クリスマス集い ・ぐんぐんタイム	2日 土	2日 火	2日 火
	3日 文化の日	3日 ・ぐんぐんタイム ・2年生プール②	3日 日	3日 水	3日 水 ・②6年生を送る会
	4日 ・6年生給食後下校(予定)	4日 ・栄マラソン 午前中	4日 月	4日 木	4日 木
・全校5時間授業 ・第3回避難訓練2限 ・資源回収週間(～9日)	5日 ・6年生修学旅行 ・1年生プール①	5日 土	5日 火	5日 金	5日 金
・6年生文化芸術体験 10:00PLAT	6日 ・6年生修学旅行 ・3年生自転車安全教室2限	6日 日	6日 水	6日 土	6日 土
	7日 ・6年生給食後下校(予定)	7日 ・資源回収週間(～11日) ・全校5時間授業	7日 木	7日 日	7日 日
・ブロック現職研修	8日 ・子どものための科学展	8日 ・栄マラソン予備日	8日 金	8日 月	8日 月
	9日 ・委員会⑦ ・資源回収週間(～13日)	9日 ・個人懇談会12:55下校 ・栄マラソン予備日	9日 土	9日 火	9日 火
	10日 ・秋の530運動	10日 ・個人懇談会12:55下校 ・2年生プール③	10日 水	10日 水	10日 水
	11日 ・秋の530運動	11日 ・個人懇談会12:55下校	11日 木	11日 木	11日 木
・ボーイの日	12日 ・1年生プール② ・代表委員会⑤ ・民生児童委員連絡会9:00 ・3年生中消防署見学9:30	12日 土	12日 火	12日 金	12日 金
・6年前授業 ユネスコ協会	13日 ・学校評価アンケートメ切 ・秋の530運動予備日 ・美化委員会キャンペーン(～18日)	13日 日	13日 水	13日 土	13日 土
・年生社会科見学	14日 ・委員会⑧	14日 月	14日 木	14日 日	14日 日
・就学時健康診断 ・3時間授業給食あり ・給食後12:45下校	15日 ・全校5時間授業 ・ぐんぐんタイム	15日 火	15日 金	15日 月	15日 月
	16日 ・ぐんぐんタイム	16日 水	16日 土	16日 火	16日 火
	17日 ・ぐんぐんタイム	17日 木	17日 日	17日 水	17日 水
	18日 ・ぐんぐんタイム ・5年生給食後下校13:30	18日 金	18日 月	18日 木	18日 木
・朝会(認証式) ・委員会⑨ ・6年生自転車安全教室2限	19日 ・5年生野外活動 ・2年前授業 拳づくり ・1年生プール③ ・ぐんぐんタイム	19日 土	19日 火	19日 金	19日 金
	20日 ・5年生野外活動 ・2年前授業 拳づくり ・ぐんぐんタイム	20日 日	20日 水	20日 土	20日 土
・本読み会による読み聞かせ	21日 ・クラブ⑥	21日 月	21日 木	21日 日	21日 日
・芸術鑑賞会 ・就学時健康診断予備日 ・代表委員会④	22日 ・給食終了 ・4時間授業 ・給食、掃除後下校13:50	22日 火	22日 金	22日 月	22日 月
・学校評価アンケート	23日 勤労感謝の日	23日 水	23日 土	23日 火	23日 火
	24日 ・ぐんぐんタイム	24日 木	24日 日	24日 水	24日 水
	25日 ・栄マラソン試走	25日 金	25日 月	25日 木	25日 木
・クラブ④ ・図書委員会キャンペーン(～30日)	26日 ・ぐんぐんタイム ・2年生プール① ・歯科二次健診 ・縦割り活動⑤	26日 土	26日 火	26日 金	26日 金
	27日 ・県民ホリデー ・学校閉庁日	27日 日	27日 水	27日 土	27日 土
	28日 ・仕事納め	28日 月	28日 木	28日 日	28日 日
・代表委員会⑤予備日	29日 ・クラブ⑤ ・栄マラソン試走予備日	29日 火	29日 金	29日 月	29日 月
・豊橋まつり ・造形パラダイス・伸びゆく子どもたちの作品展	30日 ・大晦日	30日 水	30日 土	30日 日	30日 日
	31日 ・学年末休業終了	31日 木	31日 日	31日 水	31日 水

# 栄小の学習について

令和8年度 豊橋市立栄小学校 校内現職研修計画

1 校内現職研修テーマ

ともに学び、自分らしさを磨く子どもの育成  
～身近な「ひと・もの・こと」を通した問題解決的な学習～

## 2 研究の構想

### 子どもの捉え

- ・子どもたちが友達の考えに耳を傾け、自分の考えを広げたり深めたりする姿が多く見られる
- ・明るく男女関係なく、だれとでも話すことができる

### 学校が大好きな子どもの育成

- ・安心、安全で居心地のよい学校づくり
- ・主体的な学びを育む授業の実践
- ・「話したい」「聴きたい」思いを高めるお話タイムの実践
- ・地域との連携、協力

### 子どもにかける願い

身近な「ひと・もの・こと」を通した問題解決的な学習を展開し、子どもの思考を深めたり、循環させたりする教師支援を位置づける。そうすれば、自分なりの見方や考え方を形成し、学びを自分の生活や行動につなげていこうとする「自分らしさを磨く子ども」が育つであろう。

### 身近な「ひと・もの・こと」を通した問題解決的な学習

#### (1) 身近な「ひと・もの・こと」を通した問題解決的な学習の展開

○身近な「ひと・もの・こと」を学びの素材や場、文脈として位置づけ、子どもがそれらとかがかわる中で自分ごととして問いを生みだし、「出会う」、「探る」、「つなぐ」の過程で問いをつなげながら深めていく単元を構想する。

① 身近な「ひと・もの・こと」を学びの素材や場として位置づける

② 「出会う」、「探る」、「つなぐ」の3つの過程で構成した単元構想

#### (2) 子どもの思考を深めたり、循環させたりする教師支援

① 思考を深める教師支援

○一人調べとかかわり合いを往還しながら思考をつなぎ、深め、更新していくために、考えをつなぐ朱書きや問い返しにより、一人一人の思考を明確にする。また、かかわり合いの中で、深化発問や思考の変容板書によって考えを揺さぶり、再構築する場をつくる。

② 思考を循環させる教師支援

○子どもの振り返りや「学びの足跡」をもとに、自分の学びを自覚させるとともに、他者の考えと関係づけながら見直し、次の学びへとつなげられるように、教師が変容を問い返したり、価値づけたりする。こうした振り返りを積み重ねることで、学びを自分に返ししながら、身近な「ひと・もの・こと」の価値や意味をとらえ直したり、教科の見方・考え方を働かせたりして、自分らしい考えを再構築していくことを促す。

### 目指す子ども像

ともに学び、自分らしさを磨く子ども

- ・地域を学びの場とする教科・領域の研究
- ・教科の学びを大切にしつつ、新たな素材の発掘と教材化

## (4) 気になる子への取り組み (口頭)

## (5) 学校評価について

### 1 学校評価の目的

- (1) 学校が自らの教育活動その他の学校運営について、目ざすべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 学校が、自己評価及び地域住民（学校運営協議会委員）などの学校関係者による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。
- (3) 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善指導を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

### 2 学校評価の実施手法の形態

#### (1) 自己評価

- ・学校の全教職員が、評価を行う。
- ・学校評価の最も基本となるもので、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況に向けて取り組みの適切さ等について自己評価する。

※学校評価推進委員会を位置づけ、自己評価結果・改善策については全教職員で検討し、学校経営に参画するとともに、次年度の学校経営について意見交換する。

#### (2) 学校関係者評価

- ・自己評価の結果について、保護者、学校運営協議会委員、地域住民、各種団体関係者等により構成された委員会が、学校の教育活動の観察や意見交換等を通して、自己評価結果について評価することを基本として行うものである。

※学校関係者とは、学校運営協議会委員が兼ねる。年3回の会合。(原則：授業公開)

#### (3) 第三者評価

- ・学校に直接関わりを持たない専門家等が、自己評価及び学校関係者評価の結果等を資料として活用しつつ、教育活動その他の学校運営全般について、専門的・客観的（第三者的）立場から評価を行うものである。

※豊橋市の場合は、市教委による「学校訪問」にて行っている。

### 3 学校評価結果の実施・公表（学校教育法施行規則 第66条、第67条、第68条）

- (1) 教職員による自己評価を行い、その結果を公表すること。
- (2) 学校関係者評価を行うとともに、その結果を公表するように努めること。
- (3) 自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること。（2月）

### 4 学校評価の進め方

P D C A（計画・実践・評価・改善）サイクルの取り組みを通して、成果と課題を明確にしながら学校改善に努め、保護者、地域から応援、信頼される学校づくりを推進する。

#### (1) 今年度の予定

- ① 児童 …… 7月（中間評価）と12月（総合評価）
- ② 保護者 …… 12月（総合評価）
- ③ 教職員 …… 7月（中間評価）・8月（分析）・12月（総合評価）・1月（学校経営の評価）
  - 中間評価：年度当初の指導計画の効果、改善点について、児童の学校評価アンケート結果をもとに分析し、2学期以降の重点目標を洗い出す《部会》→《学校評価推進委員会》
  - 総合評価：外部評価もふまえた次年度の計画づく 《部会》→《学校評価推進委員会》
- ④ 学校運営協議会委員 …… 2月（第3回学校運営協議会）《学校関係者評価》
- ⑤ 公 表 …… 学校新聞・ホームページなどで公表

# 令和7年度 学校評価報告書（自己評価書・学校関係者評価書）

令和8年2月18日作成

中期目標	重点努力目標（評価項目）	自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方針 次年度への課題 （★学校関係者評価を受けて）
すすんで挨拶し、よりよい人間関係を築こうとする子どもを育成する	思いやりの心を醸成する指導・実践	B	B	本年度は、朝の挨拶を少しでも地域に広げていけるよう、毎朝交通の見守りを行ってくださったいる民生児童委員さんとの交流会を、児童会主催で実践した。それを境に劇的に子どもたちの挨拶が向上するということはなかったが、地域のかたを認識したり親しみをもったりすることができ、挨拶ができないまでも、会釈や笑みを浮かべる児童も出てきて、少しずつ空気が変わってきたという声もいただいた。また本年度より、朝の活動の「お話タイム」の時間を増やし、相手の話を大切に聴き、互いの意見を認め合う学級の雰囲気づくりに努めた。運動会や学習発表会では、仲間との協力が不可欠な内容を組み入れ、達成感を味わうことができるようにした。	A	●挨拶が反射的にできるようにするには、学校だけでなく、家庭や地域と連携し、地道にやっていくしかないと思う。●子どもの意識を高めるための学校の工夫が感じられる。●「挨拶をすると何だか気持ちが良い」など、挨拶の意義を伝えようとする子どもたちを導いていく、先生がたの前向きな姿勢を感じる。	●引き続き教職員が率先して明るい挨拶をするともに、挨拶の大切さや意義を折にふれて話し、自然に挨拶ができる雰囲気をつくっていく。●地域のかたとのふれあい活動を継続し、お世話になっているかたに対して子どもたちが感謝の気持ちをもつことで、挨拶が地域にも広がっていくようにする。●各学年主催の挨拶運動の方法を見直し、成果が継続するよう工夫する。●「お話タイム」の時間を有効に活用し、聴き方指導を継続することで、友達よきを認め合い協力することのできる集団（学級）づくりを努めていく。●子どもたちが行事などの活動に対して目標をもって前向きに取り組んだり、自己の成長や達成感を感得たりできるように、目標設定や振り返りの時間をさらに大切にいく。
	自己肯定感、自己有用感を育む実践	B		●子どもが達成感を感じ取ることのできる、子どもが主体となった授業や活動の実践 ●お互いのよさを認め合う学級活動の実践		●先生がたも放課外に外へ出て遊ぶことで、楽しく外遊びをする子どもが多いのは感心する。●子どもの頃から体を動かす姿を知ることは、将来健康に過ごすために養っていきたい大切な力だと感じる。●体力は、日々の積み重ねで徐々に思える。	
心身ともにたくましい子どもを育成する	基礎体力向上のための工夫	B	B	改修工事で運動場が狭かったため、体育館を順番に開放し、安全にのびのびと体を動かすことができるよう配慮した。教職員も積極的に外へ出て児童の遊びに加わることで、外遊びをする児童が増え、楽しみながら体を動かす姿がよく見られた。マラソンや縄跳び、鉄棒などの運動には、その成果を感じながら目標をもって取り組むことができるように、学習カードを工夫したり合格証を準備したりした。その結果、子どもたちの意欲が持続し、粘り強く取り組む姿勢が見られた。アンケートでも、「力いっぱい運動している」と答えた児童が9割を超えた。	A	●引き続き放課外には、教職員も一緒に校庭で遊ぶことで、運動の楽しさを味わわせていく。●「豊橋予て力アップ大作戦！カード」を活用したり、全校で使える鉄棒のワークシートを検討したりして、子どもたちがさらに意欲的に運動に取り組めるようにする。●豊橋市推奨の「ウォーミングアップ動画」を全職員で共有し、活用することで、運動量を効果的に増やせるようにする。●体力テストの結果を分析し、苦手な部分を伸ばすための運動を体育の授業で継続的に取り入れ、力を伸ばせるようにする。	
	スポーツで運動やわらうとうる意欲を育む	B		●運動の楽しさを味わうことのできる体育授業の創造 ●笨げなスへの挑戦意欲をかき立てる手だての工夫 ●長放課時の遊びを通した運動への意欲づけ		●先生がたも一人一人に差はあるが、最終的に誰一人取り残さない教育を展開してほしい。●先生がたが目ざす目標に向かい、個の学びと協働的な学びを育み、熱心に実践されていると感じる。●主体性を育むためには、好奇心を育て、試行錯誤の時間を保障することも大切だと思う。	
確かな学力を身につけた子どもを育成する	心に残る授業・主体的な学びを育む授業の実践	B	B	研究主題「ともに学び、認め合い、高め合う子の育成」を目指して、全職員で授業研究に取り組むことができた。身近な「ひと・もの・こと」に焦点をあてた単元を構想し実践することが、子どもたちの主体的な学びを促す有効な手だてとなることを、多くの授業で実感することができた。個の学びと協働的な学びの場を交互に設定することで、自分の考えをもった上で友達と関わり、学びを深めていく子どもたちの姿が見られた。さらに主体的に子どもたち自身が問題を解決してことのできるよう、授業展開の仕方を工夫したり、話し合える力を子どもたちに身につけさせたりしていきたい。	A	●子ども一人一人に差はあるが、最終的に誰一人取り残さない教育を展開してほしい。●先生がたが目ざす目標に向かい、個の学びと協働的な学びを育み、熱心に実践されていると感じる。●主体性を育むためには、好奇心を育て、試行錯誤の時間を保障することも大切だと思う。	●子どもたちが主体的に活動し、学びを深めていくことができるよう、「身近なひと・もの・こと」をさらに研究し、子どもたちの思いに沿った単元を構想できるようにする。●問題解決的な学習に、すべての教職員が取り組むことができるよう、現職研修を計画的に行い、個々の教職員の授業力を高めたい。●子どもたちがコラボノートなどのICTを有効に活用し、個の学びや協働的な学びを深めていくことのできるよう、教職員のためのICT機器研修を充実させていく。●一つ一つの授業において、目標を明確にし、視点を与えながら「振り返り」を行ったことで、個々の学びが次の学びにつながるようにしていく。
	授業改善に向けた校内現職研修の充実	A		●教師の資質・力量向上をめざし、授業づくり・学級づくり・安全安心な学校づくりを柱にすたえ現職研修の実施		●本年度より、全職員参加の「生活サポート全体会」を月に一回設置して情報共有し、子どもたち一人一人の学校生活を、全職員で支援できるように努めた。専門家を招いての研修会を実施し、児童理解を深めた。担任は定期的に個々の児童と面談し、話を聞いたりよいところを認めたりして児童との信頼関係を築き、きめ細やかな指導に努めた。計画的に授業研究会を開催し、職員が参観し合うことで互いの指導力向上に努め、わかりやすく楽しい授業実践を目指した。木曜日の40分昼放課を活用して学級遊びを充実させることで、仲間と絆を深めたり楽しんだりすることができた。昨年度より、異学年別班活動の回数を増やし、異学年との親睦が深まった。	●子どもたちにとって楽しく居心地のよい学びをつくることのできるよう、学級の悩みを解決したり即実践したりできるような研修を充実させる。●栄ちの児童を学年全体、学校全体で育てていくという意識を常にもち、情報交換を密にし、気軽に相談したり協働したりと、同僚から学び合える職員間の雰囲気と協働性を大切にしていく。●教職員間の雰囲気と協働性を大切にしていく。●子どもたちの成長は、一人一人異なるので難しいと思うが、その子にも合った教育を進めていきたい。●六学年が一緒にいるので、異学年交流も大切にしてほしい。
	児童の主体性や協働性を育む活動の実践	A		●児童の主体性や協働性を育むことを目指した長放課（木曜日40分昼放課）の活用		●本年度より、勤務開始時刻や日課を変更したことで、子どもたちと朝にふれ合う時間や、授業のための研修時間を確保することができた。校務支援員、業務支援員などの人的支援、「デンタツくん」を活用した欠席連絡方法の導入や印刷物の削減、お訪り隊による見守りなどが、業務改善につながった。また本年度、保護者の皆さんにアンケートをとり、地域の人的資源の吸い上げを図った。その結果さまざまな授業で地域のかたのサポートをいただくことができた。しかしまだまだ勤務時間外労働の大幅な削減は難しい現状がある。	●外部に任せられる部分は外部に委託し、今後モスクラップ&ピルドで、先生がたの負担を減らしてほしい。●先生がたご自身の時間も大切にしたい。●IT利用（デンタツくん）による改善が進み、家庭と学校の連絡が能率よくできている。
多忙化解消にかかる業務改善を推進する	タイムマネジメントの浸透と業務量の削減に向けた見直し	B	B	●業務改善のためのプランを検証し、行事の精選・内容の見直しを図るとともに、在校時間縮減に向けて業務の取り組み方の改善を図る	A	●職員会議の提案事項の年間一覧表を見直し、提案時期を早めたり、必要な提案を確実に行うよう整備したりすることで、見直しをもって準備や教育活動ができるようにし、さらに業務改善を図る。●引き続き定期的に定時退校日を設け、勤務時間を意識して効率よく計画的に業務が進められるようにする。●コミュニティスクールでの会議内容の充実させたり、地域の人的支援の吸い上げをさらに図ったりして、「開かれた学校」として協力が得られるよう努める。	
	開かれた学校に合わせた整備に伴う業務の見直し	B		●地域の人的資源の吸い上げを図り、授業や活動・各種評価活動での準備や運営・まとめの際のサポート体制をつくる			

【自己評価】 A：十分に達成されている B：概ね達成されている C：あまり達成されていない D：ほとんど達成されていない

【総合評価】 自己評価をもとに 上記のA・B・C・Dで評価

【関係者評価】 A：適切である B：概ね適切である C：あまり適切ではない D：適切とは言えない

